

明海大学浦安キャンパス教育後援会会報

明海大学



MEIKAI UNIVERSITY

潮風



CONTENTS

- 4~5面 新春座談会
- 6面 キャンパスめぐり
- 7面 就職活動スケジュール
- 8面 明海大の課外活動

「わかりやすかった」「また来たい」

7カ所すべてで終了

地区教育懇談会

今年度も地区教育懇談会が開催された。この懇談会は教育後援会が最も力を入れている事業のひとつで、今年も新潟、松本、盛岡、福島、静岡、福岡、浦安の7地区で開催された。先生方と職員が各地区に出向き、大学の教育方針など近況を説明する全体会と、個別に成績や学生生活、就職などの相談ができる個人面談の2部構成で行われている。教職員とひざを交えて話し合える機会であり、数少ない父母同士の交流の場とあって、参加者には好評だ。

各地区のレポート

北陸地区(新潟市)

最初の開催となった北陸地区教育懇談会は、9月13日(日)に新潟県新潟市内のホテルで行われた。今年参加人数が増え、リピーターも多かったことから、たいへん和やかな懇談会となった。

まず全体会で釘崎徹会長が「本日は安井利一学長以下たくさんの方、職員の方に来ていただいています。心配事は何でも相談してください」とあいさつ。また、安井学長が「私たちは学生の皆さんに明海大に入ってよかったと思ってい



ただけるよう、日々努力をしています。今日はそのことを直接保護者の皆さんに伝えて、皆さんからは大学に対する忌憚のない意見を聞かせていただき、大学の運営に役立てていきたいと思えます」とスピーチした。この日、個別面談を担当していた日本語学科の片桐史尚先生は、「日本語教育を学ぶと、将来の進路にどのような可能性があるのかという質問がありました」。

また、HT学科の白野伊津夫先生は「TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)の点数が進級条件に足りていないという相談が多かった。対策講座などサポート体制がありま

すので、本気になってやれば大丈夫と説明しました」と話していた。

参加者の感想

・入学式に参加しましたが、人数が多くて友だちを作る状況ではありませんでした。地区懇談会も最初は手探りで参加していましたが、今ではこの雰囲気を感じます。(英米語学科3年)

・3回目の参加です。3年生なので就職についていろいろと相談ができ、有意義でした。来年が最後だと思うと少し寂しいですね。(不動産学科3年)

・子どもはあまり学校の話をしてくれないので、教育懇談会で情報を得ることができ、ありがたいです。私は今回で最後ですが、今後の人たちのためにも、この会は続けてほしいですね。(HT学科4年)

信州地区(松本市)

信州地区の教育地区懇談会は、9月27日(日)に長野県松本市内のホテルで行われた。

最初に栗本真弓副会長が「本日は浦安キャンパスからたくさんの方をお招きしています。いろいろと心配なことがあると思いますが、先生方が親切に指導してくださるはず。どうぞ、

有意義な時間にしてください」とあいさつ。安井学長は「保護者の皆さんと親しくお話ができる機会は少ないが、教育後援会の皆さんが地区懇談会の場を提供してくださり、感謝しています」と述べた。

全体会の後、個別面談を担当したHT学科の草野健学部長は、「1年生と3年生の学生の親御さん」と話をしました。3年生の方はやはり就職活動について関心がありました。希望がはっきりしていたので、具体的なアドバイスができました。1年生の方は進級について心配をされていた」と話をしていた。

懇親会では、途中、近江彰事務部長が、担当している体育会空手道部の試合の途中経過を報告。明海大生の活躍に大きな歓声があがっていた。

・初めて参加しました。大から学長をはじめたくさんの方に来ていただいたりして助かります。個別面談では担当の先生と話ができ、私たちの知らない子どもの様子を垣間見ることができました。あらかじめインターネットで地区懇談会の様子を見ることができ、会場に来ないという不安がなくなりました。(日本語学科1年)

・毎年参加して、3回目の地区懇談会です。



新年のご挨拶

教育後援会会長 釘崎 徹



新年明けましておめでとうございます。会員である保護者の皆様には、日頃より諸活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。新しい年を迎え、役員一同心新たに2009年度事業計画の遂行及び次年度事業計画の策定に注力していく所存です。

さて今年度の教育後援会活動の一端をご報告させていただきます。5月の評議員会(全国保護者代表総会)の開催に始まり、今年度創部されたジャズオーケストラ部へのグラウンドピアの寄贈、厚生施設の視察卒業アルバム制作会社の選定、会報誌「潮風」の作成とホームページの更新、学生たちと明海大学の未来を語り合った学友会サマーキャンプ、学園祭やクラブ活動への支援等々、4回の役員会で準備を重ねながら実施して参りました。

6月には「保護者のための就職ガイダンス」と銘打って関東地区就職懇談会を開催。「就職氷河期」と揶揄される過酷な状況下で子供たちも必死に頑張っていますが、結果が出ずに心が折れかけた子供たちも大勢いる事でしょう。こんな時、私たち保護者がなすべき事は、闇雲に発破をかけるのではなく、子供たちと共に現実を見つめ悩み、そして温かく勇気づけてやる

事だと痛感しました。10社20社落ちて大丈夫。最後に自分を評価してくれる素敵な1社に巡り合えればいいのですから。お子さん共々、保護者の皆様のご健康をお祈りいたします。

地区懇談会では全国7会場を回り、各地区の保護者の方々と親しく情報交換させていただきました。当日は安井学長、小泉副学長をはじめ諸先生方、大学職員の方々にもご参加いただき、学業成績の個別面談はもちろん、留学・就職・生活全般等テーマ毎に分かれた各ブースにも多くの保護者の方が相談にみえられました。

9月には東洋大学を視察。古い雑多な街並みに突如として現れる近代的な高層ビル、カフェテリア形式の充実した学生食堂等、その素晴らしい施設に驚かされましたが、同時に我が校の強みを再認識するきっかけともなりました。浦安キャンパスが位置する新浦安は、東京デイズニーストリートに隣接するお洒落で新しい街です。そしてそこには潮風薫る緑豊かな学び舎があり、活気あふれる若人たちがいます。そんな抜群の環境に恵まれた明海大学が、いつの日か「人間力に富み、明るくさわやかな学生が集う大学」と評されるようになったら嬉しいですね。

私たち教育後援会は、そんな夢の実現に向けて、いつでも明海大学の一番のサポーターでありたいと願っています。皆様には、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

※HT:ホスレタリティ・ツリースムの略

東北A地区(盛岡市)

10月4日(日)、東北A地区教育懇談会が盛岡市内のホテルで開催された。



栗本副会長のあいさつの後、大学を代表して小泉允副学長がスピーチ。「学生一人ひとりの将来の夢を現現できるような、カリキュラムの改訂をはかることはもちろん、海外研修や資格取得、就職指導などの支援体制を充実させている」と大学の教育方針を説明。「地区懇談会は保護者の皆さんと親しくお話しができる貴重な機会。本日は忌憚のない意見、感想をお聞かせください」と述べた。

■参加者の感想

個人面談ではゼミの先生と話ができ、子どもの普段の様子や進路について相談したら、とても丁寧なアドバイスをいただきました。(HT学科3年)

地区懇談会は、先生方の熱意が肌で感じられるし、聞きたいことを教えていただけなので、とてもよい企画だと思います。(英米語学科3年)

また、厳しい就職環境を反映してか、就職の相談コーナーには次々と相談者が訪れていた。懇親会に移り、午前中に歯学部行事に参加した後、盛岡まで駆けつけた安井学長が「皆さんと親しくお話しできたらと、懇親会に駆けつけました。遠い大学にお子さんを出していたら、感謝しています。明海大で学んでよかったと思っただけでいいように、使命感を持って育成にあたります」とスピーチすると、大きな拍手がわき起こり、会場が和やかな雰囲気になった。地区懇談会を終えた栗本副会長は「盛岡地区は参加者の3分の2がリピーターで、懐かしい顔に出会えました。安井学長をはじめ先生方が気さくに保護者と話

らと思います」と参加者に熱く呼びかけられた。

■個別面談では、メモをとりながら話を聞く熱心な保護者の姿も。面談を担当した中国語学科の小川唯先生は、「保護者が就職先について不安に感じているのに対し」初めの就職先がすべてではなく、そこから自分が一番やりたい職業に転職した卒業生の話をしました。また、自分が思っている自分と他人が思っている自分には違いがあることから、周りの人に自分はどうな人間なのかを聞き、そこで知った自分の強みを面接でアピールしてみたい、といった話もさせていただきました」と話していた。

■参加者の感想

初めて参加しました。個人面談で、子どもの生活状況が分かりました。(英米語学科3年、1年)

子どもはあまり自分から話をするほうではないので、日ごろの生活や成績のこと、授業での様子などいろいろ心配でした。先生から「単位取得も始まったばかりです。応援してあげてください」とのお話をいただき、不安も少し和らぎました。(不動産学科1年)

■参加者の感想

今回、初めて参加しました。一番気になっていた「TOEIC」のことを先生に聞いたのですが、丁寧な説明でとても分かりやすかったです。(HT学科1年)

懇親会では、先生方の状況、ぜひ、お子さんの相談にのってあげてください、そして励ましてください。道は必ず開けます。同じ親として、懇親会ではそんな情報交換もできたらと思っています。たくさんお話をしましょう」とスピーチ。和やかな雰囲気の中、子どもたちの様子を知りたいという皆さんの要望を実現できる場を設けるために各地区で懇談会を開催しています。今日は有意義に過ごしてください」とあいさつした。

10月18日(日)、東北B地区の地区懇談会が福島県福島市内のホテルで行われた。出張先である大分県から駆けつけた安井学長は「学生の皆さんの夢が実現できるような力で努力していくつもりです。懇親会では気軽に声をかけていただけ

東北B地区(福島市)

東海地区(静岡市)

10月25日(日)、東海地区教育懇談会が静岡市内のホテルで開催された。この日は静岡県を中心に、愛知県、岐阜県在住の保護者が参加した。

全体会で印南副会長は「もつと大学について知りたい、子どもたちの皆さんの要望を実現できる場を設けるために各地区で懇談会を開催しています。今日は有意義に過ごしてください」とあいさつした。

安井学長からは「昨年は学長に就任したばかりで教育懇談会に参加できませんでしたが、今年は皆さんの意見を伺おうとすべて参



加しました。皆さんの大切なお子さんが、将来の夢を実現できるよう、教職員が一丸となって専門教育、人間教育をやっています。皆さんの期待に応えるよう大学も頑張っています。皆さんのお話を聞かせてください」との力強いスピーチがあった。

■参加者の感想

個人面談を行った下田直樹学部長は、「部活動と勉強の両立が難しく悩んでいるという相談を受けました」と話していた。

懇親会がスタートすると、おいしい料理を楽しみながら、先生方を囲んで話の輪がいくつもできていた。途中、参加した先生方の自己紹介を兼ねたスピーチが行われ、個性豊かな話に笑いが起きたり、拍手がわき起こったりと、会場全体が盛り上がる場面もあった。

■参加者の感想

毎年来ていて、3回目の参加です。子どもが就職活動に入るの、スーツを作るに帰ってきました。親として何ができるのか、今日は先生にいろいろと相談したくさんアドバイスをいただきました。(日本語学科3年)

初めて参加しました。子どもが大学生になってからも父母会に参加するなど予想もしていませんでしたが、先生との個人面談など、楽しく有意義に過ごせたと感じます。来年も参加したいと思っています。(経済学科1年)

成績表の見方や単位について、とても丁寧に教えていただきました。大学の様子は子どもからも聞いていましたが、学習態度について話をきくことができ、よかったですと思います。大学との接点が増えました。(HT学科1年)

九州地区(福岡市)

11月8日(日)には九州地区教育懇談会が福岡市内のホテルで開催された。

全体会では、印南副会長が教育後援会活動へのお礼を述べた後、「保護者として大学についての諸々の心配なことを率直に先生方に相談していただきたい」と挨拶。次に安井学長から「教育後援会と大学が車の両輪」と話していた。

関東地区(浦安市)

12月5日(土)、全国6か所を回って開催された今年度の教育懇談会の締めくくりとなる「関東地区教育懇談会」が浦安キャンパス体育館で行われた。

今年度は春の就職懇談会の対象を3年生のみから全学年へと拡大したため「就職懇談会に続いての参加」という保護者もいて、厳しい就職環境への危機感が感じられる懇談会となった。

釘崎会長は全体会の冒頭、全国6地区で行われた教育後援会での大学側の協力に感謝の意を表した後、後援会費がどのように使われているかをいつまでも説明。



「なかでも私たちが最も力を入れているのがこの「地区懇談会」です。今日は、学業成績だけでなく大学生活、就職など何でも相談いただき、すっきりした気持ちでお帰りになれますように」と結んだ。

続いて安井学長から「10月1日に文部科学省が発表した今年の

2009年度地区教育懇談会

Table with 9 columns: Region, Participants (Faculty/Students), Survey Responses, and Breakdown by Year/Subject/Session. Rows include Tohoku A, Tohoku B, Chubu, Kyushu, Kanto, and Total.

4年制大学の就職内定率は62・5%。前年比7・4%減という厳しい状況です。社会状況が大きく変化する中で、時代に合った大学づくりを、学生が自分の生きる道を見つけ、将来の希望をつかむ力を培えるように後援会と大学が協力していきたい。明海大を選んだことを後悔させることのないよう頑張っていきたいと思えます」と話があった。

■参加者の声

個人面談では会場に27のブースを設け、職員が保護者からの相談や質問などに応じた。

成績の確認のほか就職に向けての対応を質問して理解することができた。初めての参加だったが大学の様子も



国内大学 視察研修

「学生のために何ができるか」 を再認識 = 東洋大学白山キャンパス =

2009年9月5日(土)、釘崎徹会長をはじめとする役員ら19人が参加し、2009年度国内大学視察研修が行われた。訪問先は、創立120余年の歴史を誇る東洋大学白山キャンパス(東京都文京区)。教育後援会の運営方法や大学施設、学生生活の様子など、時間は短いながらも多岐にわたる視察が行われた。



東洋大へレポートで



⑤

⑤高層ビルの中庭に、緑があしらわれている。



⑥

⑥ホールの絨帳の原画は故・平山郁夫が描いたもの。座席にはミニテーブルや傘立てが。同時通訳が聞ける席もある。



⑦

⑦渡り廊下には「東洋大学のあゆみ」と書かれた年表のパネルが、バックライトで照らされている。



⑧

⑧3箇所・1750席あるという学食。明海大と同様、ピーク時には満員になる。

【視察の感想】(レポートからの抜粋・要約)

「東洋大学は今後明海大学が10年スパンで追いつき追い越す格好のターゲット校だと思いました」(釘崎会長)
「立派な高層ビルの校舎で、学食もメニューが豊富でうらやましい限りでしたが、緑が少なく学生の憩いの場がないとのことで、浦安キャンパスに教育後援会がテラスやベンチ等を援助できたことが喜ばしいことだと思いました」(栗本副会長)
「たばこの吸殻がなく、私の持つ大学のイメージとはかなり違い、やはり都心の大学だな、と感じました」(永井副会長)
「夏休み期間中のため、学生の姿が見られず少し残念でした」(梅澤)「キャンパス自体は明海のほうが開放的で圧迫感がなく、キャンパスライフを楽しむには適している」(秋元)、「箱根駅伝優勝が志願者の増加に繋がったそうで、全国区の宣伝の力は大きいと感じました」(吉澤)

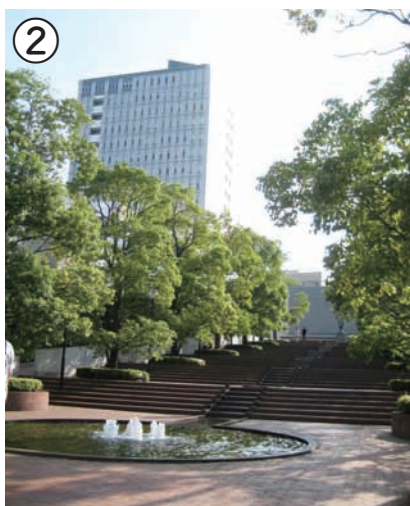
【視察のまとめ】

視察を終えたまとめとしては、①教育懇談会の開催地の増加を図ること、②保護者のためのキャンパス見学会の開催を検討すること、③奨学金制度の見直し、などが挙げられる。これらについて今後の検討を行っていく予定。



①

①まずは東洋大学の教育後援会「浦水会」の会館で、癸生川賢司会長らから会の活動について説明。同会では2009年、保護者向けに『会員のつどい』という2日間にわたるイベントを開催。キャンパスツアーや講演会、就職活動支援フォーラムなどを行った。



②

②大学の概要や沿革の説明を聞いたあと、いよいよキャンパス見学へ。正門付近は「浦水の森」と呼ばれる憩いのエリアだ。



③

③浦水会の寄付で建てられた時計塔。三角柱が大学・学生・保護者の三位一体を象徴している。



④

④構内に掲げられたレリーフは、創始者・井上円了が崇めていたという四聖(カント・孔子・釈迦・ソクラテス)。

大学の近況報告

るので相談コーナーで手順などを説明してもらいました。大学の支援体制はあり

がたい。留学は難しくそうだが本人次第ですね。(英米語学科)

部は758人で、学部生は5775人が在学している(2009年5月1日現在)。

【浦安キャンパス学年暦】

【入試結果について】
2009年度の入学試験の結果は、募集停止、定員割れをしている大学もある

【在学人数について】

浦安キャンパスにある経済、外国語、不動産、HTの4学部合計の学生数が4977人(うち女子学生2100人)、坂戸の歯学

【学生支援課修学支援業務スケジュール】
本学では2001年度から学生支援に力を入れている。これは、大学や新しい生活環境になじみず1、2年生で退学する学生が目立ち始めたことによる。学生からの相談を待っているのではなく、欠席調査などで問題を抱える学生に早期に気づき、大学の教職員から声をかけ、一緒に問題を解決しようというもの。保護者の皆様とも協力して学生の支援にあたっている。

【就職支援行事年間スケジュール】
就職の状況は非常に厳しい。2009年は売り手市場でよかったが、2010年3月卒業の学生は本当に厳しい状況にあり、来年も状況は厳しくなるとの予想で、大学は学生の就職活動を成功させるためにいろいろ

【海外留学・海外研修派遣】
長期の海外留学と、短期の海外研修があり、今年度も大学は多くの学生が海外に行けるよう充実したプログラムを用意している。

【夏季インターンシップ派遣実績】
今年度の夏季インターンシップでは91人の学生を派遣している。職業意識の形成や学修意欲の向上といった、とても有意義な体験となる。1年から参加できるので、学生たちに勧めやすい。

【2008年度体育会試合結果】
2006年度に、大学

が直轄して強化する体育会を立ち上げ、サッカー部、空手道部、ヨット部が所属している。各部とも健闘している。期待している。また、学友会という自治組織があったので、その中にも多くの運動部、文化部、委員会等に学生が参加し、積極的に活動している

【2009年度明海大学浦安キャンパス東海地区教育懇談会】



平成22年の新春を迎え、本紙では「浦安キャンパスの現状と今後を語る」をテーマに、就任2年目となる安井利一学長をお迎えして新春座談会を開催した。

少子化に伴う18歳人口の減少、また『大学全入(※)』、そして、グローバル化の流れの中、全学生の約77%を担う私立大学における教育の重要性がクローズアップされている。

「私立の学生をどう育てるかが日本の将来を決める」という大きな命題のもと、本学で人間力をはぐくむ教育を目指す安井学長に、その教育ビジョンと、教育後援会に望むことを大いに語っていただいた。

(※) だいがくぜんにゆう…少子化の影響で大学への入学志望者が減り、定員を下回る現象。数字のうえでは希望者全員が大学に入学できる状態を指す。

学士力十人間力が

明海大卒のプライド

印南 まず、浦安キャンパスの今後の展望として、学長がよくおっしゃる人間力を養成する教育を、具体的にどのように実現しようとしているのか、学長のビジョンをお聞かせください。



安井 平成21年春の大学への進学率は、50・2%でした。50%を上回るとユニバーサル段階と言われ、進学を希望する子どもはほとんど進学できる状況になります。ちなみに進学率15%以下をエリート段階、それを超えるとマス段階と言います。今日ここにいらっしゃる皆さんは、マス段階に入った頃に18歳だったのではないのでしょうか。その頃に比べると、今は多様な子どもたちが大学に進んできます。また、大学生のうち私立の学生は77%を占めています。私立の学生をどう育てるかというのが日本の将来を決めてしまうという、非常に大きな命題を持つていてというのが、まず第一ですね。その中で明海大学を選んでくれた学生さんに対して、大学は何を還元できるかというのが、私に与えられた命題です。

大学を出たというだけで、社会で通用した時代もありましたが、今の時代、さすがにそれだけでは通用しない。大学で何を学んだかということと同時に、何ができるのかということ、何を社会に問うてくれるかというわけですね。

印南 人間力という概念ですが、具体的にどのような力でしょうか。

安井 明海大学の建学の精神にあるように、「社会性・創造性・合理性」を身につけることだと考えています。変わっていく社会の中

自分で実現を図るときに、課題をとらえることができ、一番いい形でそれを解決できる、それが社会性です。創造性は、社会に出て問題解決をしていく中で新たな方向性を見いだしていく力。そして合理性とは、自己と他を識別する力、みんなに押し流されることなく自分を確立するのが合理性の原点です。

人間力を基礎として培って、そのうえで専門分野を身につけます。大学は具体的なテクニックを教えるところではないので、自分で考える力を養っておけば、そういう社会が来てもあまり怖がらずに自分自身を前に出せるのではないかなと思います。なかなか難しいことですが、教育力を売りにできる大学にしたいですね。そのために4月からカリキュラムを変えて、子どもたちがより大きな人間力を身につけて卒業できるようにしたいと考えています。



釘崎 この10年、企業を取り巻くビジネス環境の激変は、企業変革を促し、そこで働く社員の仕事のやり方を変えてしまいました。昔



は営業成績の良い社員が評価も高かった。でも今は顧客に対する問題解決提案能力が重要視されています。つまり社会性と創造性ですね。

また情報インフラの革新・整備が進み、それらを使いこなすことで、今までと同じ仕事量を短時間の内に少ない人数で処理することが当たり前になってきています。子供たちは大学を卒業してすぐに、仕事にス

印南 差別化ですね。多様性がそのベースにあるのかもしれない。一番早い人がいいとは限らなくて、スピードが遅くても地道に確実にできるとか、違うことができるという多様性があれば、それぞれの特徴を生かせる。そんな人間力を養う教育があるといいですね。

学校と家庭が

同じ目線で教育を考える

安井 そのためには子どもたちを理解することが必要です。教育は良いところを伸ばしてあげるのが大切で、ところが、それは偏差値では計れなくて、この子はどこに特性があるのかというの、実は教師でもなかなか見抜けないですね。保護者の協力が必要です。

栗本 教育後援会が新しい事業を興して、協力することもできます。

ちょうど昨日、福岡市で教育懇談会があったのですが、やはり子どもの悪いところを直そうという親御さんが多い。だからどうしても小言が多くなる。良いところを伸ばしてあげると、子どもの方から悪いところに気付くということもあるわけですね。そういう教育が理想です。ただ、本学のように学生数が5000人以上

安井 ありがたいことに今、教育後援会が7つの地域で懇談会をやってく

談 会

キャンパスの現状と今後を語る

明海大学 建学の精神

社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成をめざす

【社会性】

今や、人類共存の理念は、地球の資源問題、環境問題を抜きに考えられない時代を迎えました。地球規模で進行しつつある高齢化社会に伴う労働社会問題、低迷を続ける国際経済問題、発展途上国における社会経済問題等々、解決すべき問題は山積しています。これら全人類の課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、和を重んじ、心豊かな社会性に富む人間を育成し、学際領域にも及ぶ総合的教育研究を行います。

【創造性】

今日、科学技術・学術研究の先端が次々に新しい展開をしており、大学としてその時代の最先端をどのようにリードしていくかという課題に直面しています。しかし、大切なことは、一方的な技術の振興を図ることではなく、技術の進歩と人間性の調和を図りつつ世界への貢献を果たさなければなりません。人類の生き方について、未来からの挑戦を受けると言われる今日において、学問の世界は、まさに自然科学はもとより人文・社会科学などの分野においても激動の時代を迎え、学際的な領域から価値の見直しが迫られています。知の継承、創造の拠点である大学はより国際競争力を強化し、大学の多様性を発揮して、このような時代において、総合的見地から、国際未来社会を切り拓く創造性豊かな教育研究を行います。

【合理性】

高度情報化社会を迎え、情報量は増大し、情報なくして個々の人間は、自己の意思決定すら出来ない感を呈しています。科学技術の発達、人々の生活様式を変え、価値観にも大きな影響を及ぼすことから、科学技術の独り歩きは許されることはありません。従って、科学技術のコントロールの完全を期するとともに人間性の発揚に心がけ、未来社会を切り拓く信念が重要となります。このため、合理性ある教育研究の場を醸成します。

このように本学の建学の精神は、社会性・創造性・合理性を身につけ、広く国際未来社会で活躍し得る有為な人材の育成を目指すものであります。

【公式ロゴマーク】明海の「M」をモチーフに、建学の精神を象徴化している。
※引用…<http://www.meikai.ac.jp/about/kengaku.shtml>



出席者



明海大学学長 安井利一

(略歴) 北海道出身。城西歯科大学(現明海大学)大学院歯学研究科博士課程修了(歯学博士)。口腔衛生学の専門家であり、平成15年より同大の歯学部長を、平成18年からは副学長を務めた。



副会長 栗本真弓 (日本語学科4年)



教育後援会会長 釘崎 徹 (中国語学科4年)



司会/教育後援会副会長・編集長 印南彰雄 (英米語学科3年)



副会長 永井 通 (不動産学科2年)



加して、学生たちの学校に対する希望を聞く機会がありました。大学の施設整備が多かったですが、それら

安井 いろいろな意見が聞けるでしょうね。教育後援会



2009年11月9日 オリエンタルホテル東京ベイにて



印南 授業だけ、カリキュラムだけ、ではなく、家庭を含めた全体的なプログラ

や、明海祭、就職の授業に参加しました

全体をとらえていないだろうなと最近思っています。今年度の地区懇談会に7カ

栗本 4年生で就職活動をしているのですが、意欲が見られなくて、少し心配しています。

印南 私はあんまりがんばり過ぎて、燃え尽き症候群になってしまいました

釘崎 教育後援会は、在籍している学生の保護者からの会費によってまかなわれて

一つなのでしよう。その改善をしてあげることによつて、明海大は庭がきれい

印南 自分に投資するようなことをしてくれればいいなと思いますよ

印南 教育後援会は学長を盛り立てて、できることは何でもやりたいと思います

安井 難しい質問です。私が接する学生は全部ではありません。サマーキャンプ

保護者の方とお話をしました。「卒業するのが大変だ」とか、「うちの子は人

永井 私もサマーキャンプに参加しましたが、素晴らしい学生がたくさんいて

印南 私はあんまりがんばり過ぎて、燃え尽き症候群になってしまいました

釘崎 教育後援会は、在籍している学生の保護者からの会費によってまかなわれて

一つなのでしよう。その改善をしてあげることによつて、明海大は庭がきれい

印南 自分に投資するようなことをしてくれればいいなと思いますよ

印南 教育後援会は学長を盛り立てて、できることは何でもやりたいと思います

安井 大学があまり高等学校校化、中学校化するのは問題がありますが、ゼミなど

今年度の地区懇談会に7カ所すべて参加して、何人かの保護者の方とお話をしました

永井 私もサマーキャンプに参加しましたが、素晴らしい学生がたくさんいて

印南 私はあんまりがんばり過ぎて、燃え尽き症候群になってしまいました

釘崎 教育後援会は、在籍している学生の保護者からの会費によってまかなわれて

一つなのでしよう。その改善をしてあげることによつて、明海大は庭がきれい

印南 自分に投資するようなことをしてくれればいいなと思いますよ

印南 教育後援会は学長を盛り立てて、できることは何でもやりたいと思います



を一切しない。子どもは下がる叱られるから、登るしかないという状況だったのです

にしてみれば、子どもは下がる叱られるから、登るしかないという状況だったのです

が一度集約していただけるとうかがいます

永井 保護者と学校のフィリター役が必要かもしれません

学生時代

この時を大事にしてほしい



U・RA・YA・SU めぐり キャンパス



円形ステージ

富田 けっこう集まってきたる！ 軽音楽部ですね。

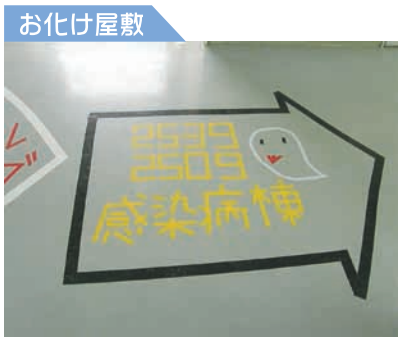
保護者が大学構内に入ってみるのに、一番ぴったりの日…それが『明海祭』。学生や教職員の雰囲気肌で感じられ、しかも近隣に住むいろんな世代の皆さんが訪れるので、“浮く”心配もご無用。若いエネルギーが詰まった楽しいお祭りに、今回も役員が突撃取材！

↑パンフレット表紙。テーマ「ピース」は、パズルのピースと平和のピースをかけている。

明海祭 編



編集委員 / 左・富田美江（浦安市 / 経済学科3年生の保護者）右・梅澤澄江（市川市 / HT学科3年生の保護者）



お化け屋敷

廊下に張られたテープは、本部の目玉企画「感染病棟」への誘導マーク。近隣の子もたちが1日に300~400人も来るといって、現代版・お化け屋敷だ。

梅澤 「感染病棟」って…怖そう。入らないわよね？

富田 …（無理）…。

「どうぞ見ていってください」と誘われて入ったのは『中国語通訳研究会』。

中国語通訳



梅澤 先生、こちらでは何をしていますか？

長谷川先生 そこにブースがあるでしょう。あの中で学生が中国語と日本語の同時通訳をしているんですよ。これが同時通訳設備。セミプロほどの実力を持った学生もいるんですよ！



同時通訳設備→

富田 え〜、私にはプロの通訳さんと同じに聞こえますよ！ こういう活動があるとは知らなかったです。

長谷川先生 そうでしょう？ 明海からぜひプロを輩出したいと思っているんですよ！

終わって…

梅澤 けっこう歩きましたね。おもしろかった〜！ とこで、団体に所属している学生はたくさんいたけれど、そうでない学生はお休みしているだけのようなので。親や近隣の人たちのために、もっと学部や学科ごとの展示があってもいいように思いませんか？

富田 私は演劇と中国語の通訳が印象的でした。例えば英米語学科で英語の通訳をしたり、英語の演劇をしたりしてみてもおもしろいんじゃないかしら。

梅澤 そうですね！ ジャズオーケストラ部が地域の方と一緒に演奏する、というのどうかしら。

富田 今後に期待しましょう！！

模擬店



メイン会場

梅澤 あそこのウサギさんが熱心に売っていたから買っちゃった。「たこ焼き風ワッフル」ですって…。

富田 味は…ん？ 食べたことない感じ。あっちの留学生の餃子はさすが！ 本場の味！

ケナフ



富田 ここは大学の構内で植えられている「ケナフ」という植物の展示ね。

劇団明海



梅澤 こっちは『素人En劇集団 劇団明海』…ちょっと観てみましょうか。

富田 けっこう本格的ね！

屋外ステージ

音楽ライブ



梅澤 これが教育後援会で寄贈したステージなんですよね。

富田 こうやって使ってくれるのを見ると嬉しいわね。

学生ホール

フリーマーケット



前日の雨で広場がぬかるんだため、場所を移して開催されたフリーマーケット。天候に恵まれず、残念。

2009年度 卒業生の主な内定先(2009年12月26日現在)

Table with 4 columns: 業種, 企業名(内定先), 人数. Rows are categorized by industry: サービス業, 金融業, 建設業・不動産業, 公務員, 小売業, 飲食・宿泊業, 運輸・通信業, 製造業, 卸売業.

就職活動スケジュール

学年別

2010年 1月~7月の動き



わが子の就職は心配だけれど、最近の就職活動事情は昔と違って、会話の接点が見つけられない...

より詳しい情報は、「明海大学キャリアサポートセンター」のホームページで公開されているので確認してみよう。

http://leo.meikai.ac.jp/~syusyoku/index.htm

現在2年生

現在2年生の学生にとって、2010年の前半は準備期間。仕事のこと、社会のことを知り、一方で自分のことをよく考える時期でもある。

4月頃 キャリアデザインプログラムガイダンス

5月頃 就職ガイダンスがスタート

6月頃 コンピテンシー診断テスト開始

7月頃 就職講座スタート

夏季インターンシップが徐々にスタート(10月ぐらいまで)

現在3年生

就職活動真っ只中の3年生。資料請求をし、エントリーシートを提出し、セミナーや説明会に参加して...

1月 履歴書用写真学内撮影会

2月 特別ガイダンス

5月 学内企業セミナー

学内企業説明会

現在4年生

このところの求人者の冷え込みで、就職が決まらず悩んでいる人も少なくない。大学では2月に未内定の4年生のため...

2月9日(火) 『卒業前に決める就活応援セミナー』



▲求人票もこまめにチェック

明海大学のこれからを

熱く語り合った2日間

2009年度学友会サマーキャンプ

2009年9月1日(火) 2日(水)、栃木県日光市の鬼怒川観光ホテルで2009年度明海大学浦安キャンパス学友会サマーキャンプが開催され...



開会式でまず学友会の豊泉遼太郎会長(経済学科2年)は「今年度のテーマは『これからの明海大学について』です。明海大学をよりよくするために、皆さんの活発な意見交換を期待しています」と挨拶...

「施設」の分科会に参加した日本人学生は「学生から新しい施設・設備を作ってほしい」という意見が出され、先生や職員が費用の話をして議論が終わるパターンになりがち...



「課外活動」の分科会に参加した教員は、「大学にいたって、先生や職員が費用の話をして議論が終わるパターンになりがち。一緒に良い方法を探そう」と議論を展開していきたくたい。また、「課外活動」の分科会に参加した教員は、「大学にいたって、先生や職員が費用の話をして議論が終わるパターンになりがち。一緒に良い方法を探そう」と議論を展開していきたくたい...



明海大の課外活動

体育会や部活動、サークル活動などの課外活動は、学生生活に彩りを与えてくれるのみならず、卒業後にも大きな影響を与えてくれる存在。学生たちは言う……「注目し、応援していただくことが一番嬉しい」と。もしどこかで「MEIKAI」の文字を見かけたら、ぜひ気軽に声をかけていただきたい。

昇り調子の部員たち 目指すは 団体全国優勝！ —— 空手部 ——



上妻優介監督

明海大学体育会のひとつである空手部。上妻優介監督のもとで練習に励んでいる。日曜以外の毎朝7時から練習を始める部員たち。「朝に練習するのは、授業をサボらせないため」と上妻監督。部活だけでなく勉強も

上田選手は「練習はきついが、それよりも勝ったときの嬉しさが大きい。礼儀指導も厳しいが、社会人になつたときにきつと役立つと思います」と話す。放課後はバイトもするなど学生生活も楽しんでいるようだ。上妻監督は「空手を通して、一所懸命にやれば必ず報われることを伝えたい」と語る。「明海大空手部は、もっと強くなりますよ」と、力強く話してくれた。

4月には ジャズ推薦の新生も！ 今後の活動に期待高まる —— ジャズオーケストラ部 ——



▲左から常盤さん、監督の椎名豊さん、顧問の本間勝先生、大木さん

2009年4月に発足したジャズオーケストラ部。部員は5人と少人数ながら、ジャズの理論を基礎から学び、熱心に練習に励んでいる。指導にあたる世界的ジャズピアニスト・椎名豊さんは、ジャズ教育の第一人者でもあ

り、創部とともに同部の監督に就任した。「音楽を聴いて、何を感じるか。そして、感じたことを人にどんな風に伝えるか。ジャズはコミュニケーションのひとつのスタイル」と話す。HT学科2年の常盤尚揮さんはピアノ初心者だが、「音で気持ちを伝えられるようになったら。セッションなどもやってみたい」。創部にあたって教育後援会が寄贈した真新しいグランドピアノで、プロのジャズピアニストから指導を受けるといふ、十分な環境に恵まれ、意気込みも十分だ。



▲創部と新しいピアノのお披露目を兼ねて催された特別演奏会。ドラム・ベース・PA機材一式は同窓会から寄贈された。

高校時代にジャズバンド部で部長を務めていたという英米語学科1年の大木聡さんの担当はトランペット。「大学でジャズが続けられるなんて！この部がなかったらもう演奏していなかったかも」と話した。2010年度の新たな入試制度として文化活動(ジャズ)推薦がスタートした。4月からその枠で入学する新生がすでに決まっている。新メンバーを迎え、ますます活気ある部活動になっていきそうだ。

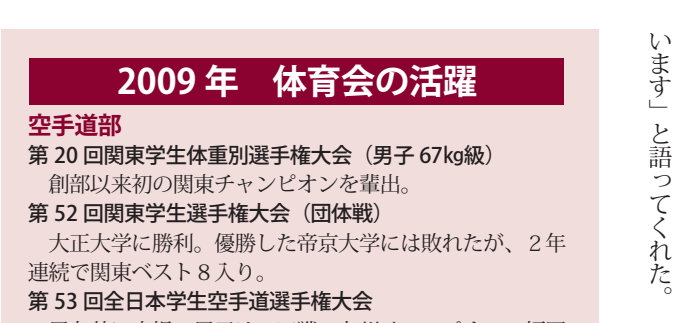
卒業生にはプロのダンサーも！ 本格志向のダンスサークル ——「跳兎Rabbit's」——



代表・安部洋さん

「跳兎Rabbit's」は設立8年のダンスサークル。部員数70人の大所帯をたばねる安部洋さん(経済学科2年)に話を聞いた。毎週木曜日の夕方に講義室などで行っている練習は、全員で行う基礎練習から始まる。体をほぐした後「ヒップホップ」「ジャズ」「ブレイク」「ロック」

の4ジャンルに分かれて練習。新入生の半数はダンス初心者で、入部時に好きなジャンルを選ぶ。練習では、先輩やダンス経験者が一からダンスを教えられる。ときにはプロダンサーになったOBが来てくれることもある。サークルとしての練習以外にも、新浦安の駅周辺で踊ったり、学外の人たちとチームを組んで踊ったりする部員もいて、練習熱心な様子が見える。



の4ジャンルに分かれて練習。新入生の半数はダンス初心者で、入部時に好きなジャンルを選ぶ。練習では、先輩やダンス経験者が一からダンスを教えられる。ときにはプロダンサーになったOBが来てくれることもある。サークルとしての練習以外にも、新浦安の駅周辺で踊ったり、学外の人たちとチームを組んで踊ったりする部員もいて、練習熱心な様子が見える。

2009年 体育会の活躍

- 空手道部**
第20回関東学生体重別選手権大会 (男子67kg級)
創部以来初の関東チャンピオンを輩出。
- 第52回関東学生選手権大会 (団体戦)
大正大学に勝利。優勝した帝京大学には敗れたが、2年連続で関東ベスト8入り。
- 第53回全日本学生空手道選手権大会
男女共に出場。男子は2回戦で九州チャンピオンの福岡大学と対戦し、勝利。3回戦は準優勝した帝京大学と接戦の末に敗退。全日本学生選手権大会で初のベスト16入り。

- サッカー部**
千葉県大学サッカーリーグ春季戦・秋季戦
共に無敗で優勝し、今年でリーグ3連覇を達成。
- 関東大学サッカー大会
予選3試合を全勝し昇格決定戦に臨んだが、関東学院大学に0-3と敗北。関東リーグ昇格にあと一歩及ばず。

- ヨット部**
第9回千葉県大学生ヨット選手権大会
2レースが行われ、1位、2位、3位を独占。昨年に続いて総合優勝した。
- 第38回全日本470選手権大会
関東470選手権大会兼全日本470選手権大会予選の結果により、関東代表として3艇6人が、また金子晃也選手が愛知工業大学の選手とペアとなり中部代表として出場したが、上位10チームが出場できる決勝シリーズへの進出とはならなかった。

卒業記念アルバムについて

3月・9月の学位記授与式後に卒業生全員に記念として教育後援会から卒業アルバムが送付贈呈されます。返品を少なくするため下記の項目をご確認ください。

- ①アルバム送料は着払い(個人負担)になります。
- ②お手元に届くのは12月から翌年1月を予定しております。
- ③住所を変更した場合は必ず学生支援課に届出を行ってください。
- ④アルバムの発送は、国内限定のため、留学生は国内で受け取ることが可能な住所・友人等を届出ください。(個人写真の撮影時に受付)

当会のホームページを ご存じですか？

教育後援会のホームページでは、活動のレポートや学内の情報を保護者の皆さんに向けて発信しています。会報紙『潮風』の過去20年分がすべてPDFファイルで見られたり、キャンパスの様子を伝えるコーナーがあったりと充実の内容。パソコンをお持ちの方はぜひ「お気に入り」に登録を!! ご意見・ご要望もお待ちしています。

<http://www.meikai-koenkai.com/>

平成22年1月20日発行(年2回刊)
〈教育後援会だより〉

しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海1丁目
電話 047-355-5112 FAX047-355-2871
<http://www.meikai-koenkai.com/>

編集後記

明けましておめでとうございませう。
今回の潮風掲載記事の目玉である「新春座談会」では、安井利一学長のビジョンやお考え、教育方針、学生やわれわれ保護者への期待等、かなり踏み込んだお話を聞かせていただきました。
これから社会に出ていく者として必要な基礎的能力である「人間力」養成の場として、建学の精神である「社会性・創造性・合理性」に則り、学生一人ひとりの個性を大切に教育を指す学長のご方針に感銘を受けました。
われわれ大学生の子を持つ保護者にとつて就職は最大の関心事ではありますが、大学は就職のための知識や技術を教える「就職予備校」ではなく、総合的な能力を磨き、人間としての魅力や身に付ける場(キャンパス)なのだ改めて思いました。
ぜひ一読いただき、感想や意見等ございましたら、事務局までお寄せください。
(編集委員長 印南彰雄)